



富士浩囲碁講座

思い出の詰碁 30



日本メール碁会

日本メール碁会

はじめに

名誉会長 清永 忠

当会の「メール碁会通信」中の「富士囲碁講座」を長年にわたり担当を頂きました富士浩さんが、体調不調のこともあり先般退会されました。

記録を繰ってみますと、「富士囲碁講座」は2003年14号（4月30日配信）にスタートし、最終回が2018年26号（7月7日配信）でしたので延々15年2ヶ月の長期にわたり連載されたことになります。その間、掲載した詰碁問題数は計720問になります。

15年と言えば、子供で言えば誕生から中学校卒業までの期間に相当します。その間には富士さんご本人の出題継続に支障をもたらすような様々な困難に遭遇されたことでしょう。

いっぽう、「メール碁会通信」も会員の皆様のご協力をいただき、中断することなく発行を続けられたことも幸いなことでした。「富士囲碁講座」はそういう当会の歴史そのものと言っても過言ではありません。

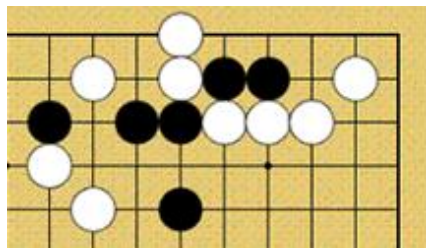
ここに富士さんの多大なる会への功勞に報いようと幹事会で話し合った結果、会の感謝の気持ちを形にして進呈するために、担当幹事が奮闘してこのような冊子を作りました。

会員の皆様には、この15年という歳月を感じながら楽しんでいただけたら幸いです。

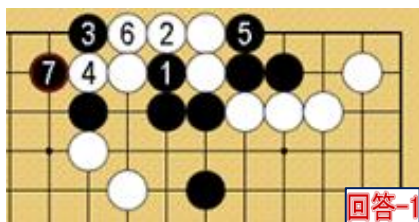
問題1

黒先生き

2010通信(43号)

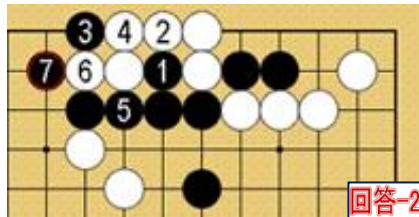


回答1

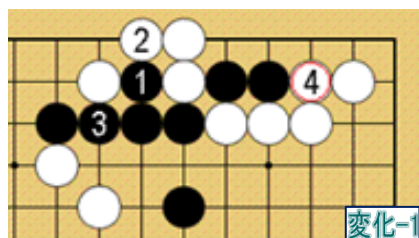


回答-1の③オキが手筋です。

回答-2のなら⑤とツイで同じことになります。これで簡単なオイオトシになります。



要するに①の左の白の枝石が枝石でなくなるのです。

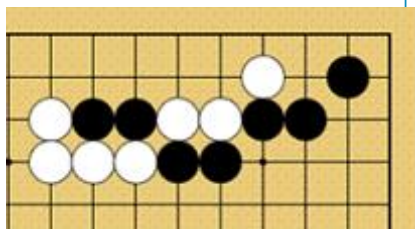


変化-1の①とでざるのはこの一手だが、③ツギはに①の左の白の枝石がいけません。その上の白の枝石がちょうど手数を延ばしています。

問題2

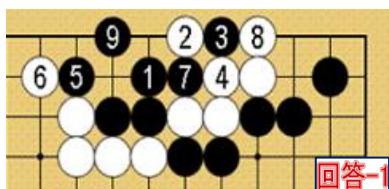
黒先生き

2010通信(46号)

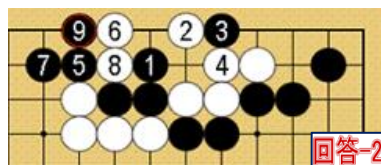


回答2

回答-1 (③は②の右) の③と裏からツけるのが妙手



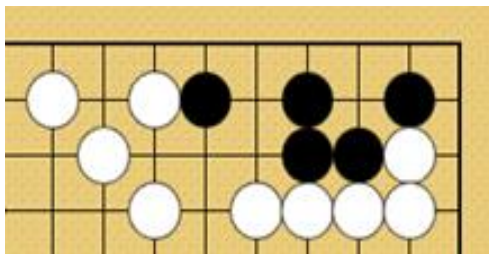
回答-1



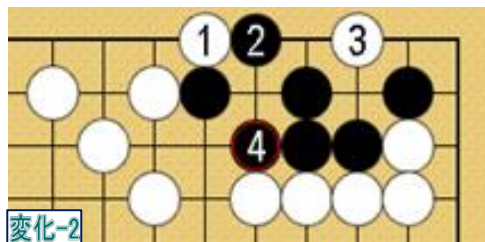
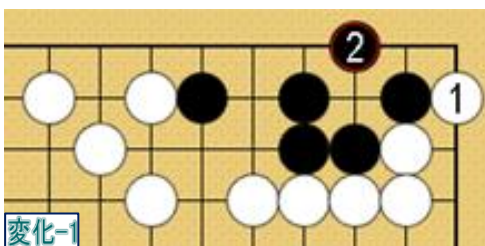
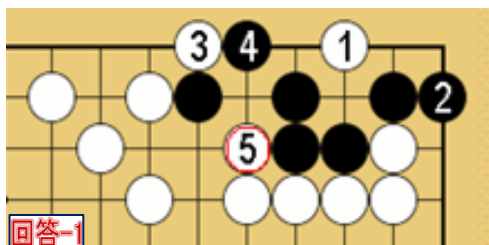
問題3

黒先死

2011通信(1号)



回答3



回答-1 の①が正解です。
成算がなければ持ち込みですが、③から⑤でしとめました。

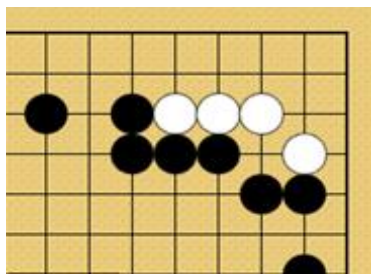
変化-1 の①は②が好手で(サガリは期待できません)二段コウになります。

また変化-2 は白失敗です。

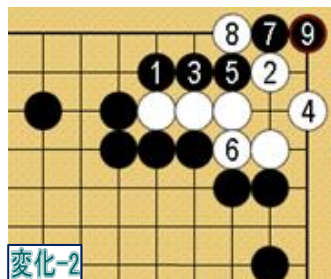
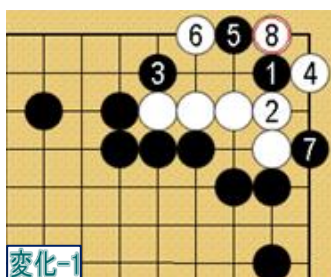
問題4

黒先死

2011通信 (4号)



回答4



回答-1 の①②を交換して③オキが正解です。これで分かりやすく無条件死です。

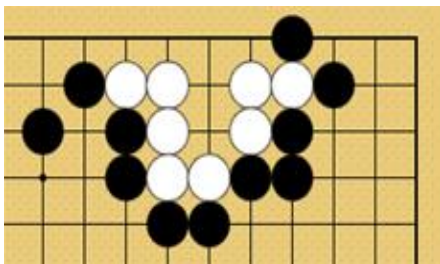
変化-1 の①オキは見る聞くなしに打ちたくなる急所です。しかし③ハネのとき④とハネられて案外決め手がありません。⑧までのコウにしかありません。

なお変化-2のように①ハネに②ヘコミウケなら③以下の手順で死です。⑨ノビが好手です。

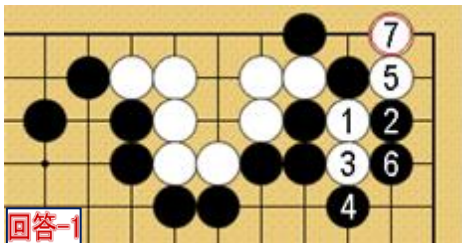
問題5

白先生き

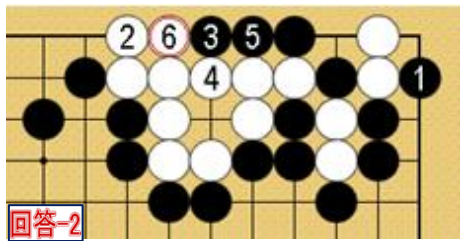
2011通信(32号)



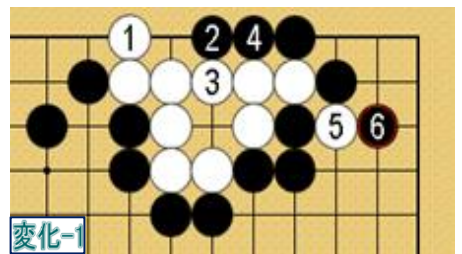
回答5



回答-1 の①とキリコんで③④とシチョウにト
ラせ、再度⑤キリコミか
ら⑦とサがるのが起死
回生の妙手です。



回答-2 に移って①メト
リ的时候、②とようやく
内側に着手します。③⑤
には⑥オイオトシが待っ
ています。



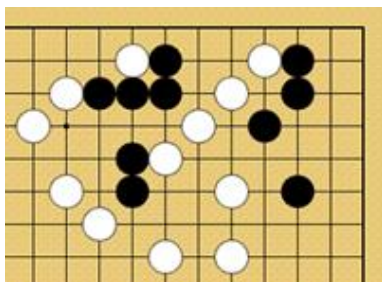
変化-1 の①とフトコロを
 広げるのが第一感ですが、
 ②のオキで一眼のみです。

あとから⑤とキッてみても⑥力カ工でそれまでです。

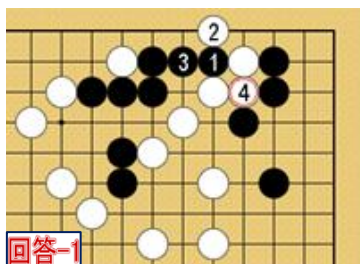
問題6

黒先生き

2011通信(40号)



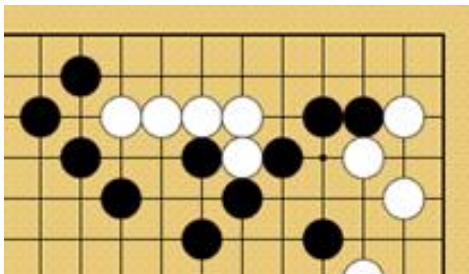
回答6



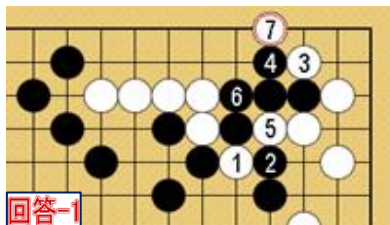
問題7

白先生き

2011通信(45号)



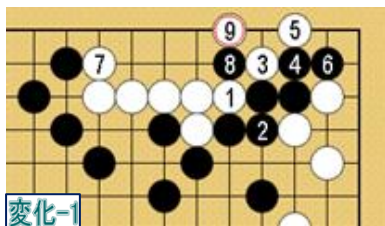
回答7



回答-1

回答の③④⑤が正しい手順です。

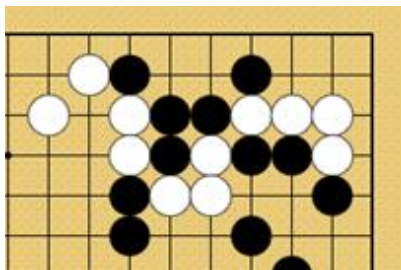
これでワタっています。



問題8

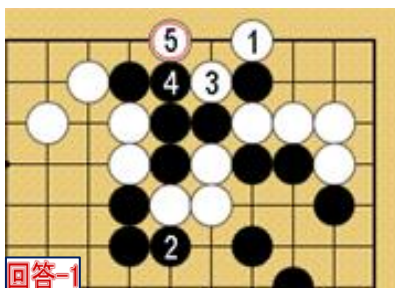
白先生き

2012通信(7号)

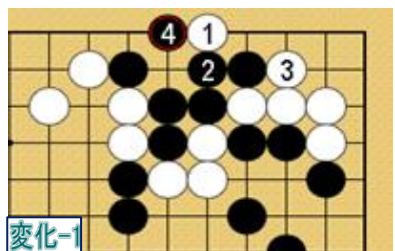


回答8

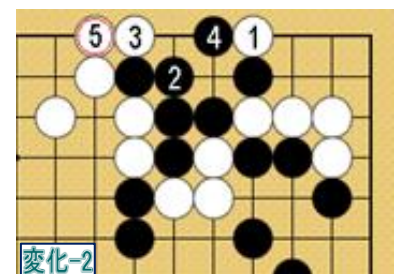
回答-1 の②と黙って本体のダメを詰めるのが正解で



す。白の妙手に逢ったとはいえ、
両バネの効力が残ってコウです。
変化-1 の①はタヌキの腹ツツ
ミ風ですが、左に白のオサエが
すでにあるので成功しません。



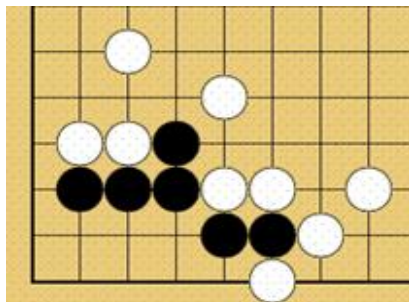
変化-2 の①ハサミツケは知らな
いと打てない手です。②のツギ
なら③⑤と背後からオイオトシ
を見るし②で右をツげば③で右
をオサエて同じくオイオトシを
見ます。黒は②がいけなかった
のです。



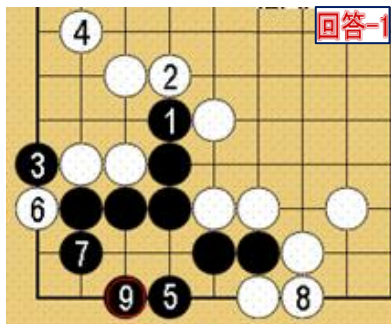
問題9

黒先生き

2012通信(46号)

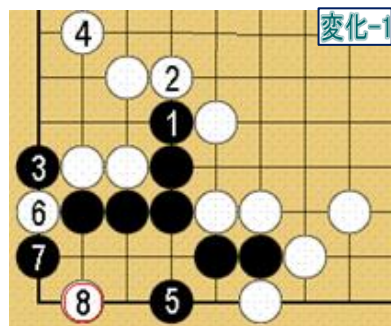


回答9



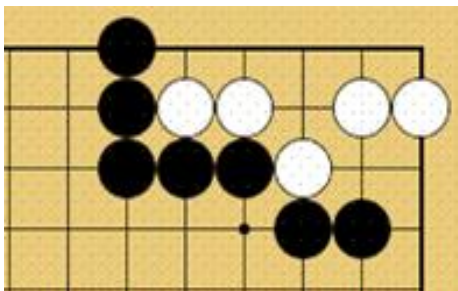
回答-1 の①③を利かして⑤と
カケツぐのが大切な手順です。

⑥に対して⑦が肝心の一着、こ
れで変化-1 の⑦と取るのは⑧
のオキで死となります。

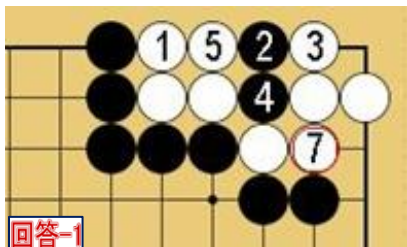


問題10 白先生き

2013通信(36号)



回答10

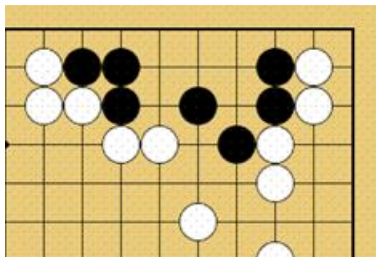


回答-1 の○1と打つ一手です。

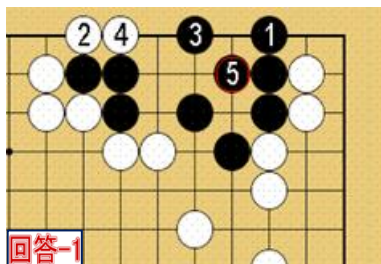
●2から○5までは当然の推移。●6のホーリコミのとき○7と打つ手があります。“石の下”です。

問題11 黒先生き

2013通信(38号)



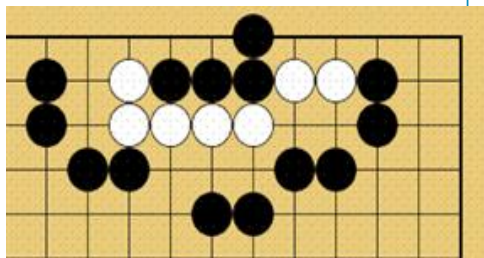
回答11



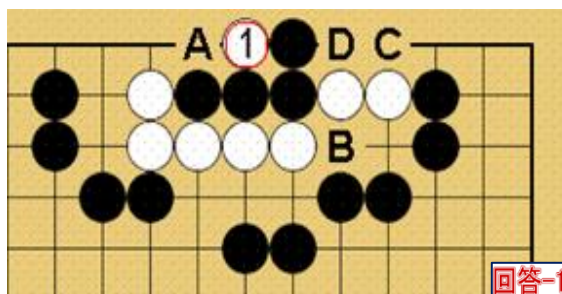
回答-1 の●1サガリが冷静な手段です。○2には●3が形。
○4なら●5で生き。
○4で5は黒4と打ってやはり生きています。

問題12 白先生き

2014 通信 (3号)



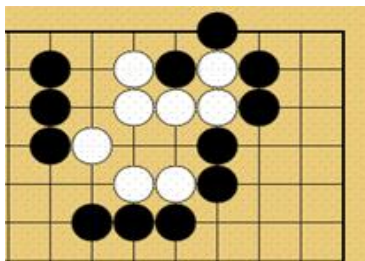
回答12



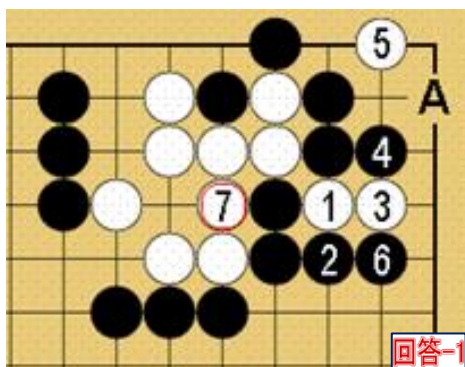
回答-1 の白1が急所となります。これで曲り四目の形で取れるので生きです。白1でAは黒1と打って五目中手の死となります。なお白1でBのツギは黒C白Dのあと黒1で五目中手。

問題13 白先生き

2014通信(17号)



回答13



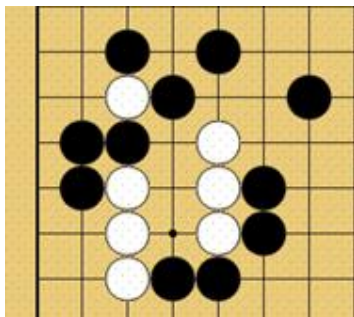
回答-1 の白1とキって

アヤを求めます。黒2で3の受けは白2と打って先手で7がキく
ので眼になります。白5が好手。

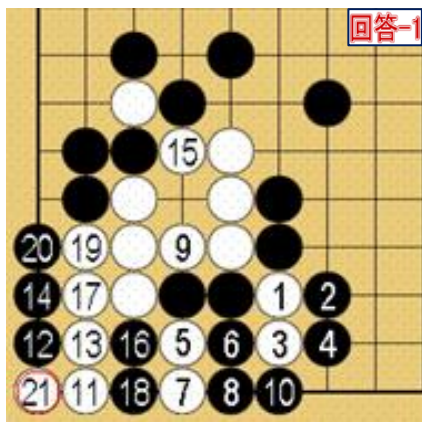
黒6の取りなら7で生き。黒6で7なら白Aのコスミで生き。

問題14 白先生き

2014通信(24号)



回答14



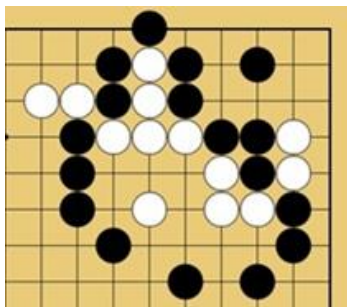
回答-1の白1(黒2の左)のキリから出発します。

白7(黒8の左)が好手。10のサガリを見ます。黒8で10は13のカケツギで生き。白11が妙着。黒12で16のキリは13でよいのです。白21で

オイオトシ。

問題15 白先生き

2014通信(36号)



回答15

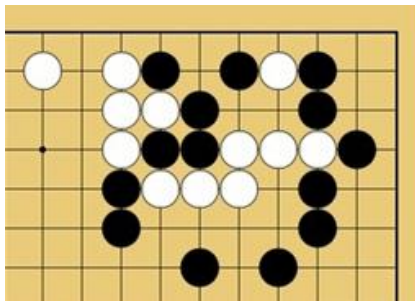


回答-1の白3ツケが手筋。黒4
に対して5が妙着です。

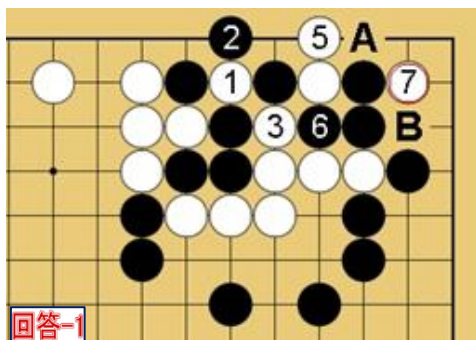
オサエる手はありません。7と
打ってダメヅマリで上辺の黒
四子が取れています。

問題16 白先生き

2015通信(3号)



回答16

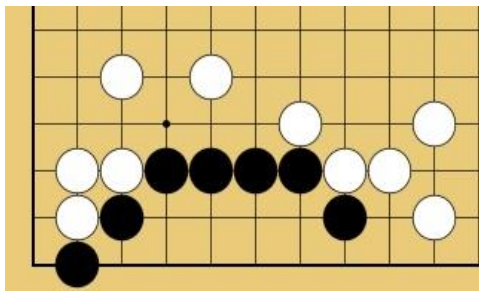


回答-1 (○1は●2の下ホーリコミ) の白1・3と打って黒をダメ
ヅマリにします。白5のサガリから7のツケが妙着。これでAのワ
タリとBのキリを見合いにします。

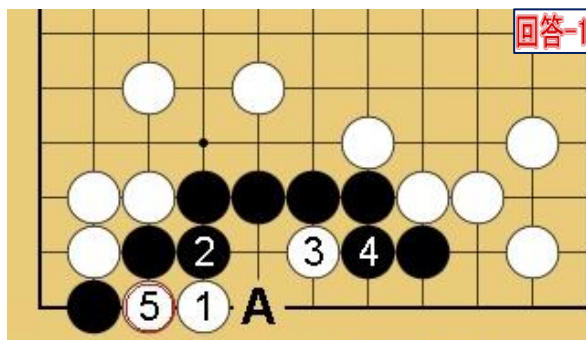
問題17

白先死

2015通信(30号)



回答17



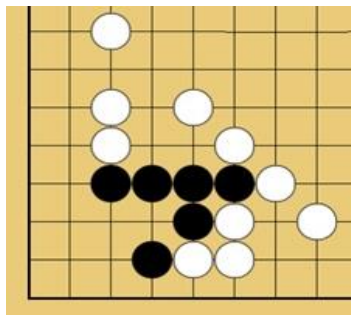
回答-1 の1のオキがコウにしない場合の雄所になります。黒2は白3と一本急所に打って5と眼を欠きます。

黒2でAでも白3・5の手順で死にます。第一着2のキリは黒1と打たれてコウです。

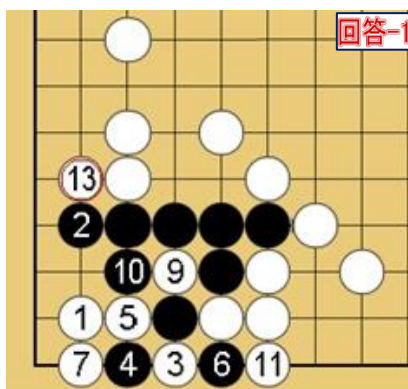
問題18

白先死

2015通信(32号)



回答18



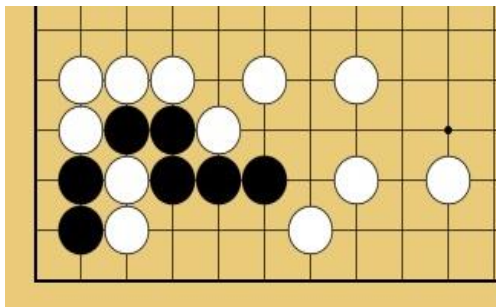
回答-1 第一着の白のオキが急所にあたります。黒2とサガれば白3・5からシボって13で召し取ります。

(白3は黒8のところ、白9黒12のところ)

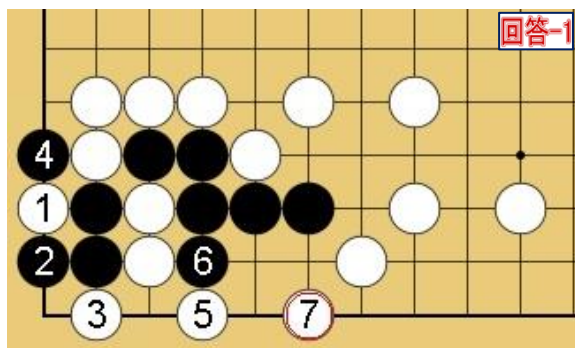
問題19

白先死

2015通信(36号)



回答19



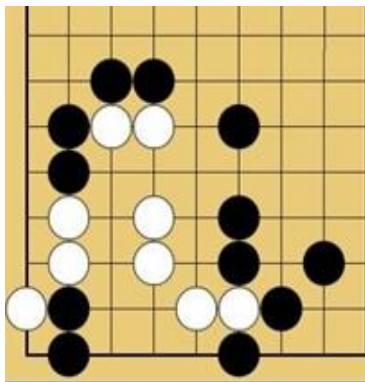
回答-1 の白1 とハネからいきます。黒2 に白3 を打ってから5 の
コスミが妙着。

黒6 には白7 と連絡して白二子は取り返しのきく姿です。初手2
にツケるのは黒1 でコウになります。

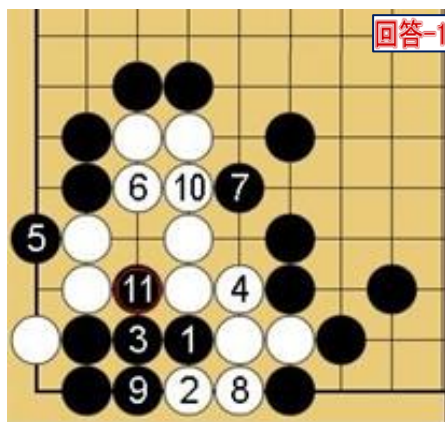
問題20

黒先死

2015通信(44号)



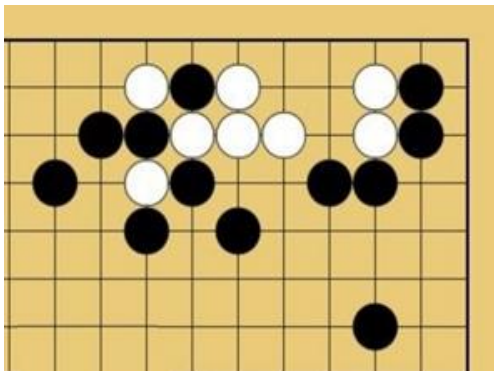
回答20



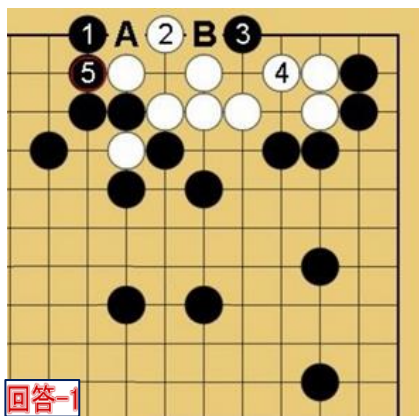
回答-1 の白1 とハネから
いきます。黒2 に白3 を打
ってから5 のコスミが妙着。
黒6 には白7 と連絡して白
二子は取り返しのきく姿で
す。初手2 にツケるのは黒
1 でコウになります。

黒先死

2016通信(1号)



回答21

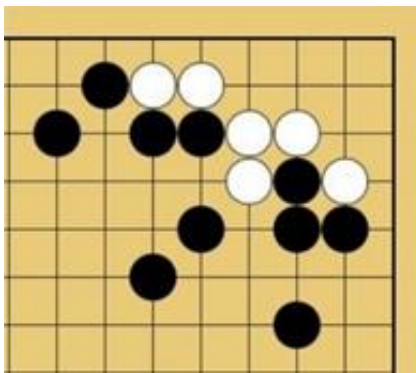


回答-1 の黒1のトビはコウ
防ぎの手。白2のあと黒3の
オキが急所です。黒5で死。
白Aは黒Bで眼を欠きます。

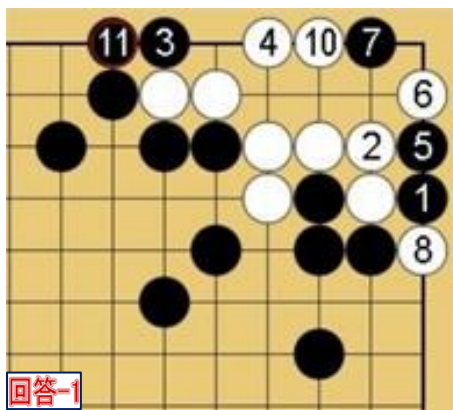
問題22

白先死

2016通信（3号）



回答22

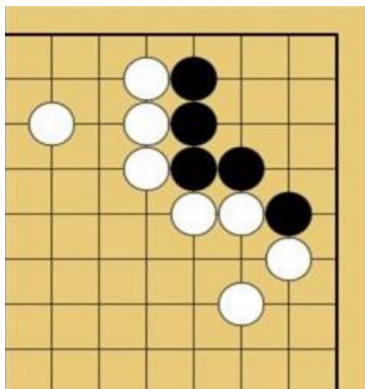


回答-1 の黒1（9のところ）と下からハネる手が好手です。これに気がつけばあとは簡単。おなじみの形となります。黒3・5（9の上）から7のオキで取れています。

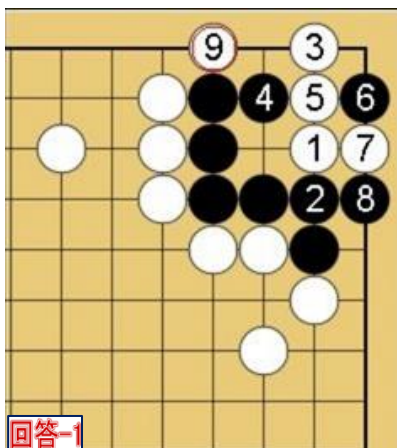
問題23

白先死

2016通信(11号)



回答23

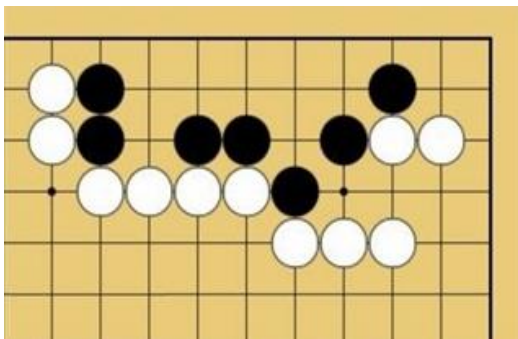


回答-1の白1とノゾいて3ノ
びでよいのです。

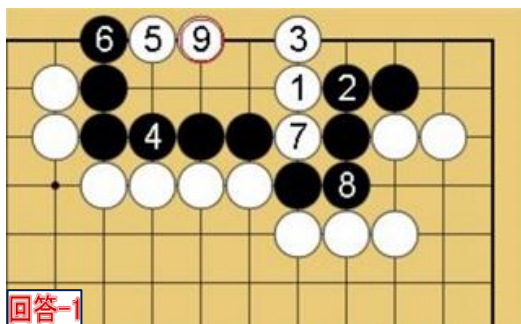
黒4・6には白7で眼有り眼
無しで取れています。

白先死

2016通信(21号)



回答24

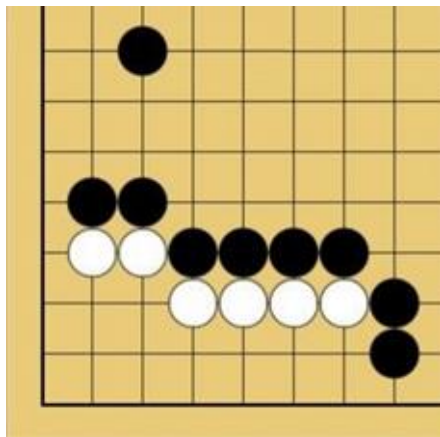


回答-1 の白 1 のノゾキはこの一手。黒 2 に 3 のサガリが好手です。
黒 4 ではいろいろな打ち方がありますが、黒 4 はもっとも常識的。
白 5 が好手で 7・9 と打って左方がセキの形です。

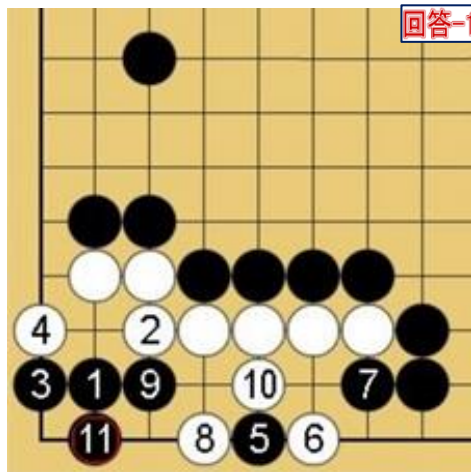
問題25

黒先死

2016通信(24号)



回答25



回答-1

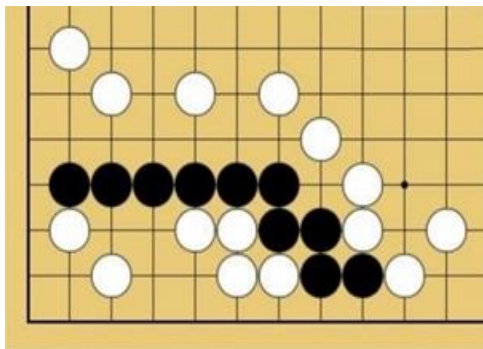
回答-1の黒1は急所。続いて3のサガリをキかします。

黒5(白6の左)と打ってスミでは眼のない姿。白6から打ってシメツケを狙った時、黒7・9で攻め合いにします。

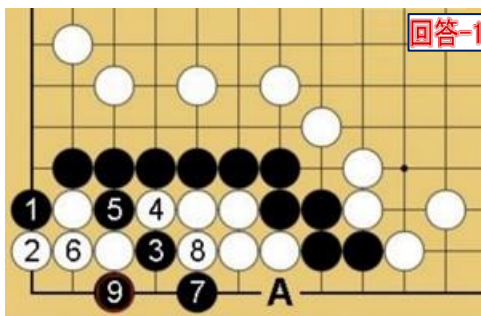
スミに一眼あるので黒の勝ちとなります。

問題26 黒先コウ

2017通信(12号)



回答26



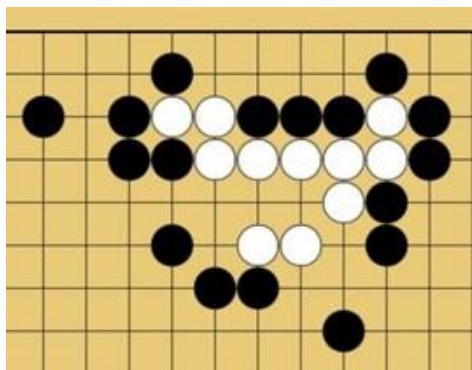
回答-1 の黒1は当然です。白2のオサエに黒3がおもしろい手。これで白4と打ってコウにするよりありません。

白4でAの取りは黒4と打って無条件死となります。

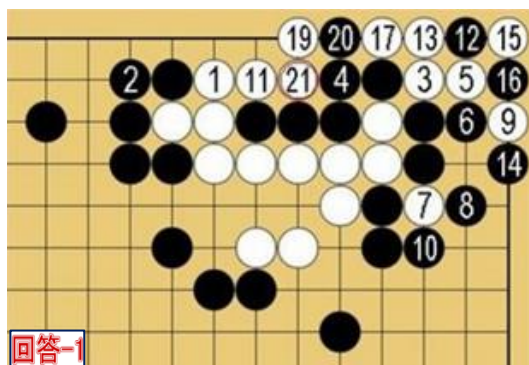
問題27

白先生き

2017通信(32号)



回答27

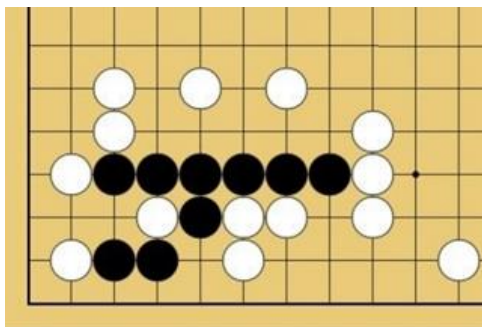


回答-1 の白1のオサエを打ち、3からキっていきます。9のハネをキカして11と打ちます。黒12から16でコウのように見えますが、白21と打って石の下生きになります。21のあと3のキリがあって生きです。

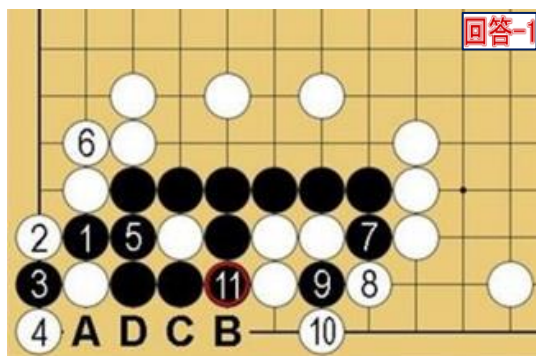
問題28

黒先コウ

2017通信(35号)



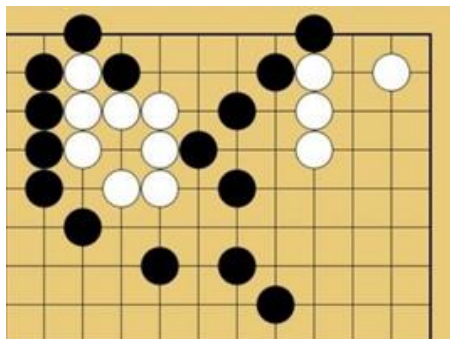
回答28



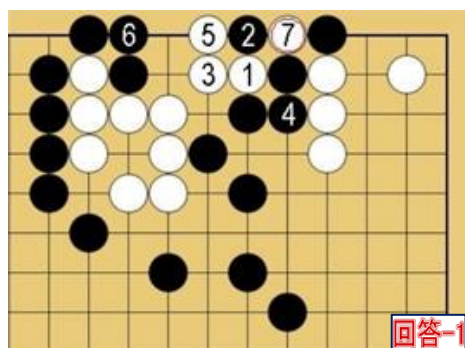
回答-1 の黒1から3が好手。白4で5の取りは黒Aでコウ。白4の時黒5とツグ手段です。このあと黒7・9がまた妙手。黒11のあと白Bのハネは黒CでAのホウリコミと取りを見合いにしてコウです。白Dと打ってきても同じです。

問題29 白先コウ

2017通信(40号)



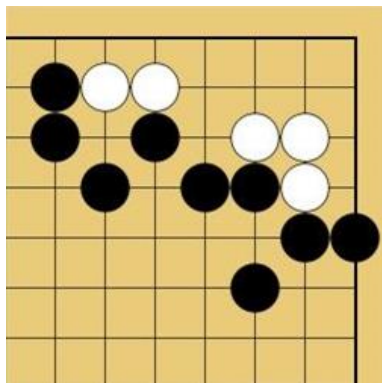
回答29



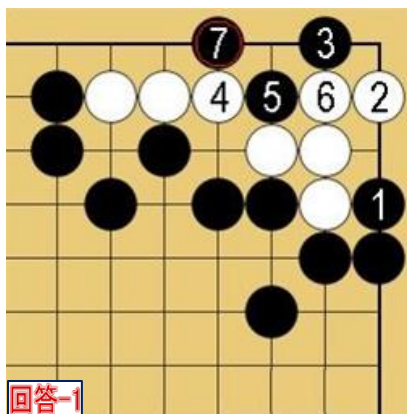
回答-1 の白1のツケが妙手筋。これで7までのコウになるのが正解ですが、白1のとき黒は構わずに6にツギ白3に4と打ち白2にAと打つ手が用意されていて手になりません。[玄々碁経]や[官子譜]では右上辺に石があり、1に手抜きするのは右上が取れるのでよい問題となっています。

問題30 黒先コウ

2017通信(50号)



回答30



回答-1 の黒1とじりっとハイコむ手が佳手。白2では5ないし6の受けがあります。黒1白6の形で[玄々碁経]の問題があります。白2と受ける形が一番粘りのある手。黒3は急所。白4に黒5・7と

打ってコウです。次は問題235(黒番)です。黒1は中を味よく打つ手。あとが問題です。

2013年メール碁会通信 9号から



富士・囲碁講座」担当の富士浩です。当年80歳で、元気で碁を打っています。しかし最近ボカが多くなりました。大袈裟に嘆いてみたり、年のせいだと諦めたりしています。相手の方はボカで勝ってもちょっと嬉しくないので、ボカはいけません。これからは「一石入魂」で打ちます。いきなり泣き言で始まりましたが、私が碁を覚えたのは一橋大学に入って下関から上京してからです。下宿先の兄貴が北炭に就職して札幌に赴任することになり、碁盤碁石と手引書を置いていってくれました。これが独学の始まりです。したがって囲碁部には入らず、愛

好会のようなもので打っていました。社会人になってからも独学は続きましたが、休みの日はゴルフなどのほかの趣味に追われて碁のほうはそんなに熱中しませんでした。私が碁に熱中しだしたのは50歳の時からです。(株)サノヤス(造船会社)のロンドン事務所長のとき、交通事故に遭いました。あの黒塗りのタクシーにはねられたのです。50歳の誕生日の前日でした。ボンネットに跳ね上げられて青い空が見えたのは覚えています。気がついたのは救急車のなかでした。それから後遺症が取れず、第一線を退くこととなりました。それで暇ができて、おかげで碁に打ち込むことができるようになりました。

ロンドンと言えばTerry Staceyのことを思い出します。休日には必ず打っていました。英国代表で世界アマ選手権で日本にも来たことがあります。我が家に泊めて、奥さんと赤ちゃんと箱根旅行にも行きました。好青年でしたが後年交通事故であっけなく死にました。同じ交通事故でも若い方は死に、年寄りには馬齢を重ねています。碁は独学と言いましたが、一人師匠がいます。秋沢晴光さんという方で、横浜の西岡地方棋士五段の碁会所で知り合いました。私より年長で、最後は旭化成の子会社の旭メデイコの社長でした。若い頃アマ本因坊戦で菊池康郎さんと決勝を争って敗れた人です。この方にはよく打ってもらいました。打ち終わったあと並べ直して感想をいただきました。

私も家に帰って棋譜を取ってコメントをつけ、これがまた勉強になりました。棋譜をつけるということは心構えの上からも実益の上からも、たいへん勉強になります。私のもう一つの勉強法は新聞の碁です。磁石の碁盤に毎日並べていくのです。新聞の碁が解説を含めて一番勉強になります。磁石の碁盤がない場合はメール碁の碁盤でもよいと思います。72歳の時、日本棋院80周年記念特別段位認定問題に応募して満点を取りました。八段の免状が貰えるとのことでしたが、かなりのお金がかかるので断念しました。以上が私のだいたいのプロフィールです。大学の囲碁部出身ではないこと、独学であること、50歳を過ぎて強くなったこと、80歳で碁を打っていること、などは皆様の励みになることと思います。

